



緑の園 11月号

ヒルトップハイツ

グリーンプラザ

デイサービスセンター

だより

第65号

令和3年11月1日発行



Journey/Escape(1981)



11月11日は  
「介護の日」です。



新型コロナウイルス感染症に関して、北海道では感染者数は減ってきていますが、なぜ減ったのかわからないことや、特別養護老人ホームでのクラスター感染が発生したことを考えると今まで通りの感染症対策は求められており心配事は尽きません。

しばらくは風見鶏のように「感染症対策の強化」だったり「利用者さんやご家族様のご希望等」どちらを優先するかその都度判断していかなければならないんだと思います。

あくまでも「利用者さんにとって何が最善の方法であるか」を考えた上であります。

加えてインフルエンザの流行期にも突入いたしますので利用者さんのインフルエンザ予防接種が今月から始まります。

さて、表題のとおり今月11日は「介護の日」です。

「介護の日」は認知度も低く介護に携わる我々は知っていても社会的にはいまいちな記念日です。

その他、11日にはポッキーの日1111はポッキーとブリッツみたいに見えるからとか、「鮭の日」鮭の漢字の旁(つくり)が十一一だからとか、電池の日十極と一極(++-プラス、マイナス…)が十一に見える



からとか、こじつけにしてもなんとなく納得できます。

で、「介護の日」というと「いい日、いい日」にかけた覚えやすく、親しみやすい語呂合わせとしたそう、他の候補としては3月15日(みなかいご)、4月4日(より良い介護)、11月15日(いいかいご)等があったそうです。

肝心の制定の趣旨ですが「介護について理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護家族を支援するとともに、利用者、家族、介護従事者それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障がい者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施するための日」として「11月11日」を「介護の日」と決めたとされています。(厚労省 平成20年7月27日発表)

利用者、家族、介護従事者にたいする理解や造詣を深め温かい目でみてくださいなということなので皆さん覚えてくださいな。(おわり)





## 先月の出来事…です。



9月のある日「施設長さん、何もなくてこのまま過ごさなければならぬのですか？」とあるご利用者さんから質問されました。

ご家族・ご友人と会うことも制限されて、外出できずまもなく長い日が続いていることに対する心からの言葉だと思います。

「本当にごめんなさい。」と、その時は謝ることしかできませんでした。

そんな中、職員の発案で少しでも入園されている利用者さんに楽しんでほしいとの趣旨で養護老人ホーム「緑の園」で先月の6日(水)に「お楽しみ会」を開催いたしました。

プログラムは①かき氷早食い競争、②〇×クイズ③二人羽織の3つで〇×クイズは利用者さんも一緒に参加するといった内容でした。

①かき氷早食い競争と③二人羽織は職員のみが参加する競技でしたが、職員が真剣に取り組むほどその姿はその場にいる皆さんの笑いを誘いとても会場全体が笑顔であふれ、楽しい空気に包まれました。

次の日ご覧になった利用者さんの反応は「普段と違う姿(二人羽織に参加した小原施設長と深井介助員)を観ることができてたのしかった」とか「お楽しみ会とても楽しかった、またお願いします」等好評でしたが中には「楽しかったけど、つまんなかった」という意味深長なコメントもありました。

でも、総じて楽しんでいただけたみたいですので、12月にもう一度開催したいと思っています。

この次は完璧なパフォーマンスを披露すべくそれまで研鑽を積んどきますので楽しみにしていただきます。(おばら)



## 今月の予定です。



新型コロナウイルス感染症に関しては不気味なほど感染者数が減少している状況が続いていますが、この状況の原因が専門家ですえよくわからないだけにある意味怖いです。

いずれのにしても**手洗い・マスク・換気そして密閉空間・密集場所・密接場面のいわゆる三密の回避**を徹底することを続けなければならず油断は禁物です。

今月はヒルトップハイツ、緑の園、グリーンプラザともご利用者様の「インフルエンザ予防接種」を予定しております。

また、グリーンプラザおよび緑の園では遠軽厚生病院感染管理認定看護師の山澤由香里氏から26日(金)に「介護施設における感染予防と対策」という内容で、ご講義いただくこととなっております。

今回も昨年同様、Zoomによる講義となっております。

残念ながら「第6波」は必ず来ると予想されており、高齢者施設での集団感染の発生が散見されている状況においては「面会」を解放するまでにはまだ相当の時間が必要かと思われます。

私たち一人ひとりにとって時間とは有限なものです。結論を急がずじっくり考える時間はかえて時間の節約にもつながるような気がしません。もうしばらく我慢していただくことになるとは存じますがなにとぞご理解とご協力の程お願い申し上げます。(おばら)

